

その男はあなただ

シリーズ～預言者の声～

2022/2/13

先週のおさらいクイズ

問) イスラエルの最初の王サウルについて

答) 体は_____が、気は_____。

問) ペリシテの大軍を前にしてサウルが犯した罪とは

答) 祭司にしか許されていない献げ物をした

問) サムエルに対してサウルがした言い訳とは

答) 兵士が逃げ出し、サムエルが約束通り来なかった<不安>

問) アマレクに勝利した後、サウルが犯した罪は

答) 全て滅ぼすように命じられていたのに、最良の物を取っておいた<成功>

ダビデ王の即位

• 預言者サムエルの最後の務め

- ダビデの油を注ぎ、次の王に任命する
- サムエルはダビデがサウルに追われている最中に亡くなる(サムエル記上25:1)

• ダビデ王の即位

- サウルがペリシテとの戦闘で亡くなり、ダビデが全イスラエルの王となる(サム下5章)
- ダビデは契約の箱をエルサレムに運び上げる(6章)

• ダビデ、神殿建築を考える

- 「王は預言者ナタンに言った。『見なさい。わたしはレバノン杉の家に住んでいるが、神の箱は天幕を張った中に置いたままだ。』」(7:2)

ナタンによる主からのお告げ

• 「宮廷預言者」ナタン

- 「しかし、その夜、ナタンに臨んだ主の言葉は次のとおりであった。」7:4

• 主は立派な家に住みたいと思っていない

- 「なぜわたしのためにレバノン杉の家を建てないのか、と言ったことがあるか。」7:7

• ダビデの後継者が神殿を建てることになる

- 「あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。」7:12-13

ダビデの罪

- 戦いに出なかったダビデ
 - 「イスラエルの全軍を送り出した。…しかしダビデ自身はエルサレムにとどまっていた。」11:1
- ウリヤの妻バト・シェバと関係する
 - バト・シェバはダビデの子をみごもる
- もみ消しを図ろうとするダビデ
 - ウリヤを前線から送り返させたが、彼は王宮の入り口で家臣と共に眠り、帰宅しなかった
- ウリヤを殺したダビデ
 - 「書状には、『ウリヤを激しい戦いの最前線に出し、彼を残して退却し、戦死させよ』と書かれていた。」11:15

サムエル記下12章1～13節

主はナタンをダビデのもとに遣わされた。ナタンは来て、次のように語った。「二人の男がある町にいた。一人は豊かで、一人は貧しかった。豊かな男は非常に多くの羊や牛を持っていた。貧しい男は自分で買った一匹の雌の小羊のほかに／何一つ持っていなかった。彼はその小羊を養い／小羊は彼のもとで育ち、息子たちと一緒にいて／彼の皿から食べ、彼の椀から飲み／彼のふとところで眠り、彼にとっては娘のようだった。ある日、豊かな男に一人の客があった。彼は訪れて来た旅人をもてなすのに／自分の羊や牛を惜しみ／貧しい男の小羊を取り上げて／自分の客に振る舞った。」

ダビデはその男に激怒し、ナタンに言った。「主は生きておられる。そんなことをした男は死罪だ。小羊の償いに四倍の価を払うべきだ。そんな無慈悲なことをしたのだから。」ナタンはダビデに向かって言った。「その男はあなただ。イスラエルの神、主はこう言われる。『あなたに油を注いでイスラエルの王としたのはわたしである。わたしがあなたをサウルの手から救い出し、あなたの主君であった者の家をあなたに与え、その妻たちをあなたのふところに置き、イスラエルとユダの家をあなたに与えたのだ。不足なら、何であれ加えたであろう。なぜ主の言葉を侮り、わたしの意に背くことをしたのか。あなたはヘト人ウリヤを剣にかけ、その妻を奪って自分の妻とした。ウリヤをアンモン人の剣で殺したのはあなただ。』」

それゆえ、剣はとこしえにあなたの家から去らないであろう。あなたがわたしを侮り、ヘト人ウリヤの妻を奪って自分の妻としたからだ。』主はこう言われる。『見よ、わたしはあなたの家の者の中からあなたに対して悪を働く者を起こそう。あなたの目の前で妻たちを取り上げ、あなたの隣人に与える。彼はこの太陽の下であなたの妻たちと床を共にするであろう。あなたは隠れて行ったが、わたしはこれを全イスラエルの前で、太陽の下で行う。』」ダビデはナタンに言った。「わたしは主に罪を犯した。」ナタンはダビデに言った。「その主があなたの罪を取り除かれる。あなたは死の罰を免れる。しかし、このようなことをして主を甚だしく軽んじたのだから、生まれてくるあなたの子は必ず死ぬ。」

ナタンによる糾弾

- **ダビデは自らの大罪に気づかなかった**
 - ウリヤの喪が明けるとバト・シェバを妻とした
- **主は預言者ナタンを通してダビデに語られた**
 - 罪を指摘することこそ預言者の務めである
- **たとえ話で語りかけたナタン**
 - 貧しい男から大切な小羊を奪って客人に振る舞った豊かな男
- **ダビデはまだ自分のことだとは気づかない**
 - ダビデはその男に激怒し、ナタンに言った。「主は生きておられる。そんなことをした男は死罪だ。小羊の償いに四倍の価を払うべきだ。そんな無慈悲なことをしたのだから。」12:5-6

ナタンによる糾弾

- **ダビデは自らの大罪に気づく**
 - ウリヤの喪が明けるとバトシェバと結婚
- **主は預言者ナタンを通し**
 - 罪を指摘することこそ預言者
- **たとえ話で語りかけたナタン**
 - 貧しい男から大切な小羊を奪って客人に振る舞った豊かな男
- **ダビデはまだ自分のことだとは気づかない**
 - ダビデはその男に激怒し、ナタンに言った。「主は生きておられる。そんなことをした男は死罪だ。小羊の償いに四倍の価を払うべきだ。そんな無慈悲なことをしたのだから。」12:5-6

主はダビデに自ら気づくチャンスを与えられたのだろうか？

「その男はあなただ！」

- ナタンによる宣告

- 「その男はあなただ」

- 主は全てご存じであった

- 「あなたはヘト人ウリヤを剣にかけ、その妻を奪って自分の妻とした。ウリヤをアンモン人の剣で殺したのはあなただ。」

- 厳しい処分

- 妻たちを取り上げて隣人に与える
 - 生まれてくる子どもが死ぬ

- ダビデの罪は主に対する反逆である

- 「なぜ主の言葉を侮り、わたしの意に背くことをしたのか」
 - 「主を甚だしく軽んじた」

詩編51篇1～14節

【指揮者によって。賛歌。ダビデの詩。ダビデがバト・シェバと通じたので預言者ナタンがダビデのもとに来たとき。】

神よ、わたしを憐れんでください／御慈しみをもって。深い御憐れみをもって／背きの罪をぬぐってください。わたしの咎をことごとく洗い／罪から清めてください。あなたに背いたことをわたしは知っています。わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。あなたに、あなたのみになわたしは罪を犯し／御目に悪事と見られることをしました。あなたの言われることは正しく／あなたの裁きに誤りはありません。

わたしは咎のうちに産み落とされ／母がわたしを身ごもったときも／わたしは罪のうちにあったのです。あなたは秘儀ではなくまことを望み／秘術を排して知恵を悟らせてくださいます。ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください／わたしが清くなるように。わたしを洗ってください／雪よりも白くなるように。喜び祝う声を聞かせてください／あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。わたしの罪に御顔を向けず／咎をことごとくぬぐってください。神よ、わたしの内に清い心を創造し／新しく確かな霊を授けてください。御前からわたしを退けず／あなたの聖なる霊を取り上げないでください。御救いの喜びを再びわたしに味わわせ／自由の霊によって支えてください。

ダビデ王の悔い改め

- 主なる神に対する罪であると認める
 - 「あなたに背いたことをわたしは知っています。…あなたに、あなたのみになわたしは罪を犯し／御目に悪事と見られることをしました。」
- 罪を赦し、清めることができるのは主のみ
 - 「深い御憐れみをもって／背きの罪をぬぐってください。わたしの咎をことごとく洗い／罪から清めてください。」
- 主の前に清くされることを切に願う
 - 「神よ、わたしの内に清い心を創造し／新しく確かな霊を授けてください。」

「その男はあなただ！」

- 私も一人のダビデである

- 「わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。」(ローマ7:18)

- 清い心を創造することができるのはただ主イエス・キリストのみ

- 「死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか。わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。」(7:24-5)